

融雪装置でお風呂が沸いたら嬉しいな!



融雪装置が冬だけしか利用できないのは勿体ない。

皆さんの「勿体ない!」の意見から生まれた商品です。

屋根融雪パネルで太陽熱を有効利用

屋根融雪利用

太陽熱給湯

おひさま



いいお湯が出るよ!

「おひさま」
だけでお湯
が沸くの?

そうだよ。
太陽ってあり
がたいねエ。

いい湯~だ~な♪



夏場の灯油代
ぼろ儲け!!

4月~11月の給湯燃料費一挙に軽減!
夏場はボイラーがほとんど動きません!!

当社社長が一足先に体感した、
体験談を語っています。

当社社長夫妻と猫の茶太郎、
熱交換貯湯タンクの前で。
左は開発担当の小口 →



「我が家におひさまが同居しました。」

大震災と原発事故、国の節電要請。国民の省エネルギーに対する考え方が変わりつつあります。そんな折、当社の懸案であった、屋根融雪装置を使った太陽熱給湯システムの実用化工事が我が家で行われました。

5月27日、漸く完了。しかし、この日はあいにくの曇り空。最高気温も24℃位で太陽熱利用にはあまり期待できない天気でした。いつものように家のことなどすっかり忘れての帰宅は夜の7時過ぎ、「ただいま〜。」と玄関を開けるや否や『お父さん凄い!』と、いつもの私を困らせるおっ家内の謎かけの一言。「???」「猫の茶太郎が笑ったか?」と負けずに私。『何馬鹿言ってるの、そうじゃないの、ボイラーが回らないの』『えっ…』『ボイラー無しでお風呂が沸かせたのよ。』予想はしていたとはいえ、曇りの日に灯油ボイラー無しで入浴ができたと聞き、早速私も入浴。シャワーを浴びながら太陽の恵みを実感しました。『まるでおひさまが同居しているみたい』の一言に「これはいい言葉だ。いいことは広めよう」とばかりに皆様にお伝えすることに致しました。



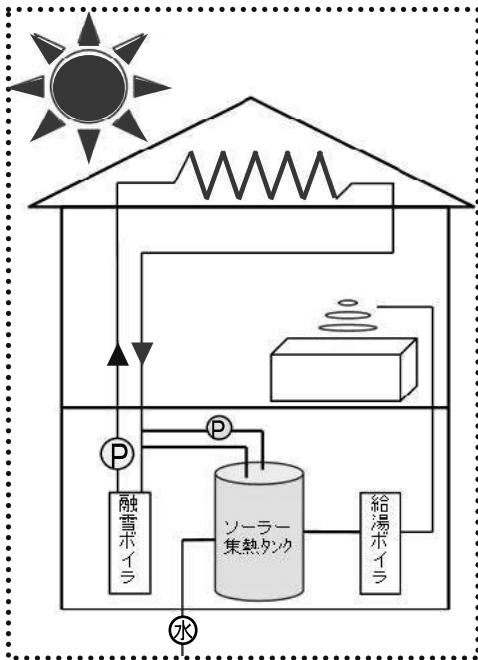
※工事費について 工事費はお客様のお宅の施工条件によりそれぞれ違います。ご希望の方にはいつでも無料見積致します。(ちなみに当社社長の家の設置費用は、約70万円でした。)

裏面も読んでね!

春から秋は 屋根融雪パネルが太陽熱集熱器に变身! 貯湯タンクを介して、融雪回路と給湯回路を融合

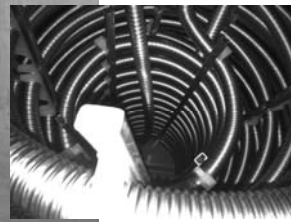
新規に貯湯タンク、ポンプ、接続配管等組込むだけで、融雪パネルを利用した太陽熱給湯ができます。

システム概念図



↑ ドイツ製 500Lの熱交換蓄熱タンク

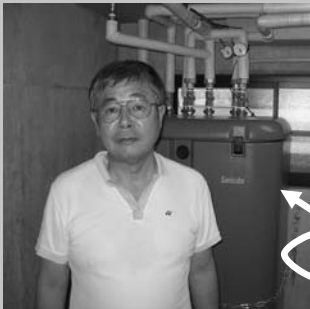
コントローラー ↓



←タンクの中側 この中に水を入れ熱交換する。不凍液と水の2本のステンレス管がコイル状になっている。

ユーザーの声

南魚沼市余川在住
佐藤英則様



おひさまの蓄熱タンク

融雪屋根にすると「太陽風呂」はダメと諦めていたんですが・・・

「おひさま」で
念願が叶って嬉しいです!

我が家は屋根面積が大きく、融雪の灯油を平年でも3,000ℓ近く使っています。特に平成17・18年の豪雪時には驚く程の量になったので、以来節約を考えるようになりました。融雪以外の4月～12月の間でも約1,000ℓを使っていたので、せめてこの量を減らしたいと思っていました。

以前は灯油の値段が40円だったのに今は90円を超えている。それを考えると太陽エネルギーは魅力的。こんな時代だからこそ、自然エネルギー利用を真剣に考える時だと思います。「融雪している人の何分の1かのお宅が、例え500ℓでも減らしたら大きいと思うよ。」



屋根は日当たりのよい南側が広く「おひさま」には打って付けの環境

◎太陽熱給湯「おひさま」のことでご相談したい方は、電話又はFAXでご連絡ください。(伺ってお見積します)

氏名	住所	電話番号



「冬の暮らし安心」を支援する

北越融雪株式会社

TEL 025-757-5300
FAX 025-752-5074

